



KIER
KYOTO UNIVERSITY
Kyoto Institute of
Economic Research



京都大学経済研究所シンポジウム



地球資源と 22世紀に向けた 豊かさの形成

日時 2015年2月14日(土)
13時～17時20分(開場12時30分)

場所 京都大学百周年時計台記念館
「百周年記念ホール」

アクセス 京阪出町柳駅から徒歩15分
市バス201・206系統 京大正門前下車

主催 京都大学経済研究所
先端政策分析研究センター
特別推進研究「経済危機と社会インフラ
の複雑系分析」
先端経済理論の国際的共同研究拠点
京都大学社会科学統合研究教育ユニット
公益財団法人KIER経済研究財団

プログラム

13:00～ 開会挨拶：湊 長博 京都大学副学長・理事

13:10～ 講演1「来世紀に向けた生存学」
松本 紘 前京都大学総長

13:45～ 講演2「22世紀に向けた地球資源としての水利用」
佐藤 正弘 内閣府経済社会総合研究所研究官

14:20～ 講演3「『成長の限界』lessへの挑戦」
土屋 定之 文部科学省文部科学審議官

15:10～ パネルディスカッション「地球温暖化の影響と対応策」
問題提起：竹本 明生 環境省地球環境局研究調査室長
司会：東條 純士 京都大学先端政策分析研究センター准教授
パネリスト：植田 和弘 京都大学大学院経済学研究科教授
中北 英一 京都大学防災研究所教授
中野 伸一 京都大学生態学研究センター長
渡辺 隆司 京都大学生存圏研究所副所長

17:10～ 閉会挨拶：津田 敏隆 京都大学生存圏研究所長

■参加申込：先着500名(入場無料)■

参加ご希望の方は、以下のいずれかの方法でお申込み下さい。

1. 参加申込フォーム <http://cscenter.co.jp/sympo-kier2/> 2. ハガキまたはFAX

①氏名(ふりがな) ②連絡先(メールアドレス、FAX番号、住所のいずれか)をお書き添えの上、下記問い合わせ先までお申し込みください。

※参加の皆様の情報を適切に保護し、本シンポジウムの開催・受付の目的以外は利用いたしません。

■お問い合わせ先■

京都大学CAPSシンポジウム事務局 (株)CSセンター内
〒604-8141 京都市中京区泉正寺町334番地 日昇ビル5階
TEL 075-241-9620 FAX 075-241-9692

E-mail : caps@cscenter.co.jp <http://cscenter.co.jp/sympo-kier2/>



まつもと ひろし 前京都大学総長

1965年京都大学工学部電子工学科卒業、1967年京都大学大学院工学研究科修士課程修了。1967年京都大学工学部助手、1974年同助教授、1987年京都大学超高層電波研究センター教授、2002年京都大学宙空電波科学研究センター長、2004年京都大学生存圏研究所長、京都大学教育研究評議員、2005年理事・副学長を経て、2008年10月から2014年9月まで京都大学総長。国立大学協会会長歴任。京都大学工学博士。専門は、宇宙プラズマ物理学、宇宙電波科学、宇宙エネルギー工学。



つちや きたゆき 文部科学省文部科学審議官

北海道大学大学院環境科学研究科修士課程修了後、1979年科学技術庁入庁。文部科学省大臣官房総務課長、文化庁文化財部長、高等教育局審議官、総括審議官、大臣官房長、科学技術・学術政策局長を経て現職。



さとう まさひろ 内閣府経済社会総合研究所研究官

東京大学教養学部卒、同国際社会科学専攻修士課程修了。内閣府経済財政政策担当、ジョージタウン大学経済学博士課程、慶応大学非常勤講師、金融庁課長補佐等を経て、2011年より京都大学経済研究所准教授、2014年より現職。専門は環境経済学、国際経済学。研究テーマは、気候変動と巨大人口時代における新たな水利用のあり方、開放経済下における自然資本利用など。



たけもと あきお 環境省地球環境局研究調査室長(併任：内閣府宇宙戦略室参事官)

工学博士(2010年3月 茨城大学)、理学修士(1992年3月 北海道大学)。1992年環境庁入庁。2000年から2003年まで外務省OECD日本政府代表部(在フランス)、その後環境省で気候変動の国際交渉など地球環境政策等を担当、2011年7月からアジア太平洋地球変動研究ネットワーク(APN)事務局長(在神戸)、2014年7月から現職。



うへだ かずひろ 京都大学大学院経済学研究科教授

環境経済学者。京都大学工学部卒業、大阪大学大学院修了。京都大学助手、同助教授、教授を経て、現在、京都大学大学院経済学研究科教授。2002～2012年に同地球環境学学術教授を両任。経済学博士、工学博士。地球温暖化防止の環境経済戦略や持続可能な日本社会への環境・エネルギー政策を研究している。近著に、『緑のエネルギー原論』岩波書店(2013)。



なかの しんいち 京都大学生態学研究センター長

京都大学大学院理学研究科動物学専攻修士課程修了。愛媛大学農学部助教授、同教授、京都大学生態学研究センター教授を経て、現在、京都大学生態学研究センター長。京都大学博士(理学)。平成25年7月第17回生態学琵琶湖賞受賞。



なかはた えいいち 京都大学防災研究所教授

京都大学大学院工学研究科土木工学専攻修士課程卒。京都大学防災研究所助手、同助教授、工学研究科助教授を経て、2004年から京都大学防災研究所教授。工学博士。この間、アイオワ大学客員助教授、京都大学生存圏科学研究ユニット企画戦略ディレクター、防災科学研究所客員研究員、国立シンガポール大学客員研究教授、マレーシア工科大学客員教授も併任。専門は、レーダー水文学、水文気象工学。多くの分野の皆さんと気候変動影響評価研究も実施している。



わたなべ たかし 京都大学生存圏研究所副所長

京都大学大学院農学研究科修士課程修了。京都大学木材研究所助手、同助教授、教授、京都大学生存圏研究所生存圏学際萌芽研究センター長を経て、現在、京都大学生存圏研究所副所長。この間、京都大学農学博士、ウィーン工科大学生物化学工学・微生物学研究所客員研究員、国際木材科学アカデミー(IAWS)フェロー。